



2025年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月5日

上場会社名 株式会社イルグルム 上場取引所 東
コード番号 3690 URL <https://www.yrglm.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役社長執行役員CEO（氏名）岩田 進
問合せ先責任者（役職名）執行役員CAO（氏名）栢木 秀樹 TEL 06(4795)7500
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第1四半期の連結業績（2024年10月1日～2024年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	1,167	25.7	23	△53.3	17	△66.1	4	△82.8
2024年9月期第1四半期	928	5.6	49	△49.2	52	△48.4	23	△66.0

（注）包括利益 2025年9月期第1四半期 12百万円（△33.6％） 2024年9月期第1四半期 18百万円（△70.2％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年9月期第1四半期	円 銭 0.66	円 銭 —
2024年9月期第1四半期	3.80	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年9月期第1四半期	百万円 3,544	百万円 1,843	% 50.5
2024年9月期	3,524	1,934	53.3

（参考）自己資本 2025年9月期第1四半期 1,788百万円 2024年9月期 1,877百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年9月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 7.80	円 銭 7.80
2025年9月期	—				
2025年9月期（予想）		0.00	—	7.90	7.90

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めており、配当方針としては期末配当の年1回を基本的な方針と定めております。

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	32.0	200	21.6	190	17.2	100	45.4	16.16

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期1Q	6,372,415株	2024年9月期	6,372,415株
② 期末自己株式数	2025年9月期1Q	211,735株	2024年9月期	210,135株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年9月期1Q	6,160,680株	2024年9月期1Q	6,196,491株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境に改善が見られ、緩やかな回復が続くことが期待されております。一方で、不安定な国際情勢を背景とした原材料価格・エネルギー価格の高騰や急激な為替変動等による景気への影響が懸念される等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社グループが事業を展開している国内のインターネット広告市場については、社会のデジタル化を背景に2023年のインターネット広告費は前年比107.8%の3兆3,330億円（株式会社電通「2023年日本の広告費」）と継続的に高い成長率を維持しており、総広告費に占める割合も45.5%まで拡大しております。

また、当社グループのもう一つの対面市場であるEC市場については、2023年国内BtoC-EC市場規模は前年比109.2%の24.8兆円となりました。分野別では、物販系分野に関して前年比104.8%と伸長しており、物販系分野におけるEC化率についてもBtoC-ECで9.4%（前年比0.3ポイント増）と伸長しております。BtoB-EC市場におけるEC化も40.0%（前年比2.5ポイント増）と増加傾向にあり（いずれも経済産業省「令和5年度電子商取引に関する市場調査報告書」）、国内のEC市場規模拡大は継続しております。

このような事業環境の下、当社グループは、データとテクノロジーによって世界中の企業によるマーケティング活動を支援し、売り手と買い手の幸せをつくる企業を目指して事業展開を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、2024年9月30日に連結子会社化した、ルビー・グループ株式会社及びその子会社であるKIMEI GLOBAL Co., Ltd.による業績貢献が期首から発生することから増収となりましたが、コマース支援事業の利益率が低下し前期比で減益となったことにより、売上高1,167,778千円（前年同期比25.7%増）、営業利益23,100千円（前年同期比53.3%減）、経常利益17,837千円（前年同期比66.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,047千円（前年同期比82.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりとなりました。

(マーケティングDX支援事業)

当事業は、インターネットにおける消費者行動を横断的に測定し、マーケティングに活用するためのクラウドサービスを提供する事業であります。当事業では、2024年9月期を開始年度とする中期経営方針「VISION2027」の戦略として、広告効果測定におけるクロスセルを強化し、新たなSaaSの提供開始・人的支援サービスの強化後、3つを掛け合わせたクロスセルを強化し、2027年9月期までに過去最高アカウント数を更新することを目指しております。提供しているサービスは広告効果測定プラットフォーム「アドエビス」を主力サービスとし、分析レポート自動作成サービス「アドレポ」を提供する広告代理店向けプラットフォームビジネスやインキュベーション領域として新サービス開発にも取り組んでおります。また、「アドエビス」につきましては、契約アカウント数の拡大を図るため、新たに低単価プランの「Growth Step Program」や、Cookieに依存しないコンバージョンAPIツール「CAPiCO」も提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、デバイスやブラウザを横断してユーザーの行動を可視化する機能「クロスデバイス分析」において、日次で分析を可能とする「AI推定クロスデバイス分析」の提供を開始いたしました。「AI推定クロスデバイス分析」の提供によりデバイスやブラウザを横断した広告の費用対効果の可視化やカスタマージャーニーの正確な把握が可能となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は710,568千円（前年同期比0.2%減）、セグメント利益は53,179千円（前年同期比62.0%増）となりました。前年同期との比較においては「アドエビス」の減収によりセグメント売上高は減収となりましたが、経費の削減によりセグメント利益については増益となりました。

また、「Growth Step Program」や「CAPiCO」を軸としてアカウント数の増加に取り組んだ結果、アカウント数については前連結会計年度末から増加となっております。

(コマース支援事業)

当事業は、EC構築のためのオープンプラットフォーム「EC-CUBE」及びEC構築・運用フェーズを軸として、集客・物流に至るまで、EC事業者が直面する課題に対して支援サービスを提供する事業であります。「EC-CUBE」はフリーミアムモデルのオープンソース・パッケージとして提供しており、EC事業者のインフラ整備や売上向上に貢献する一方、「EC-CUBE」と連携する各種サービス（決済代行等）の提供事業者から決済手数料収入を得るというエコシステムを構築しております。また、このオープンソース版「EC-CUBE」を用いたEC構築・運用支援領域にも注力しており、従来のプラットフォーム開発からECサービスの垂直統合モデルの構築を目指し、ビジネスを展開しております。特に、中期経営方針「VISION2027」の戦略においては、垂直統合モデルを目指したEC構築・運用領域の更なる売上拡大を軸に、「EC-CUBE Enterprise」の継続開発など収益性の改善を目指しております。

当第1四半期連結累計期間においては、大規模EC向けの構築要件に特化したパッケージサービス「EC-CUBE Enterprise」の開発に注力し、2024年12月に「定期購入EC」に対応した大規模EC向け構築・運用サービス「EC-CUBE Enterprise Subscription」、2025年1月に「BtoB EC」に対応した「EC-CUBE Enterprise BtoB」をそれぞれリリースいたしました。大規模EC案件でニーズが高い「定期購入EC」や昨今のDX需要により多くの企業に採用されている「BtoB EC」をあらかじめ搭載することで、大規模EC構築案件の受注促進を図っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は459,220千円（前年同期比111.3%増）、セグメント損失は30,079千円（前年同期は16,856千円のセグメント利益）となりました。EC構築事業の増収により売上は伸長しているものの、EC構築事業に係る外注費の増加、営業・開発・管理体制の拡充及びのれん償却費増加等により、セグメント損益については減益となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の売上高には、2024年9月30日に連結子会社化したルビー・グループ株式会社及びその子会社であるKIMEI GLOBAL Co., Ltd.の売上高が含まれております。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,318,416千円となり、前連結会計年度末に比べ78,242千円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が104,501千円増加したことや未収入金が108,961千円増加した一方、税金や配当金の支払い、子会社株式の追加取得により現金及び預金が137,171千円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は1,226,443千円となり、前連結会計年度末に比べ57,828千円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が49,022千円、投資有価証券が3,461千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は3,544,860千円となり、前連結会計年度末に比べ20,413千円増加いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,253,263千円となり、前連結会計年度末に比べ130,421千円増加いたしました。これは主にEC運用代行事業における決済会社からの預り額が増加したことにより、預り金が219,955千円増加したことや未払金が54,736千円減少したことによるものであります。

また、固定負債は448,385千円となり、前連結会計年度末に比べ18,231千円減少いたしました。これは約定返済により長期借入金が18,231千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,701,649千円となり、前連結会計年度末に比べ112,190千円増加いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は1,843,210千円となり、前連結会計年度末に比べ91,776千円減少いたしました。これは主に剰余金の配当48,065千円により利益剰余金が減少、連結子会社の株式を追加取得したことにより資本剰余金が50,274千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は50.5%（前連結会計年度末は53.3%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年1月17日の「2025年9月期通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,407,096	1,269,924
受取手形及び売掛金	465,899	570,400
契約資産	59,732	24,457
仕掛品	10,621	11,320
前払費用	126,343	158,865
未収入金	163,136	272,097
その他	10,937	13,315
貸倒引当金	△3,593	△1,965
流動資産合計	2,240,174	2,318,416
固定資産		
有形固定資産		
建物	105,530	106,975
減価償却累計額	△69,027	△70,276
建物（純額）	36,503	36,699
工具、器具及び備品	288,500	294,933
減価償却累計額	△239,879	△244,848
工具、器具及び備品（純額）	48,620	50,084
有形固定資産合計	85,123	86,783
無形固定資産		
のれん	389,379	388,420
ソフトウェア	424,993	426,522
ソフトウェア仮勘定	37,793	32,984
その他	13,617	13,160
無形固定資産合計	865,784	861,087
投資その他の資産		
投資有価証券	56,828	53,367
長期前払費用	77,121	73,267
繰延税金資産	80,057	31,034
差入保証金	118,762	119,172
その他	3,052	4,658
貸倒引当金	△2,457	△2,928
投資その他の資産合計	333,364	278,572
固定資産合計	1,284,272	1,226,443
資産合計	3,524,446	3,544,860

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	38,325	84,807
短期借入金	250,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	165,326	122,459
未払金	445,276	390,540
未払法人税等	40,301	14,468
預り金	60,004	279,959
契約負債	88,042	90,260
賞与引当金	27,009	20,368
受注損失引当金	408	400
株主優待引当金	8,119	—
その他	29	—
流動負債合計	1,122,842	1,253,263
固定負債		
長期借入金	429,005	410,774
資産除去債務	37,611	37,611
固定負債合計	466,616	448,385
負債合計	1,589,459	1,701,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	318,065	318,065
資本剰余金	400,144	349,870
利益剰余金	1,304,566	1,255,508
自己株式	△160,827	△160,827
株主資本合計	1,861,949	1,762,617
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	15,064	25,916
その他の包括利益累計額合計	15,064	25,916
非支配株主持分	57,972	54,676
純資産合計	1,934,987	1,843,210
負債純資産合計	3,524,446	3,544,860

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	928,898	1,167,778
売上原価	404,424	566,802
売上総利益	524,474	600,976
販売費及び一般管理費	475,041	577,876
営業利益	49,432	23,100
営業外収益		
受取利息	5,207	2,580
持分法による投資利益	1,438	592
為替差益	279	—
その他	183	545
営業外収益合計	7,108	3,717
営業外費用		
支払利息	963	1,727
投資有価証券評価損	1,504	4,053
長期前払費用償却	940	—
為替差損	—	3,138
その他	438	60
営業外費用合計	3,846	8,980
経常利益	52,695	17,837
特別損失		
減損損失	2,779	—
特別損失合計	2,779	—
税金等調整前四半期純利益	49,916	17,837
法人税、住民税及び事業税	17,201	10,194
法人税等調整額	9,583	8,148
法人税等合計	26,785	18,342
四半期純利益又は四半期純損失(△)	23,130	△504
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△437	△4,552
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,567	4,047

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	23,130	△504
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△4,205	13,073
その他の包括利益合計	△4,205	13,073
四半期包括利益	18,925	12,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,362	14,898
非支配株主に係る四半期包括利益	△437	△2,329

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年12月25日付で、連結子会社である株式会社トピカの株式を追加取得いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、資本剰余金が50,274千円減少し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が349,870千円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	43,774千円	47,737千円
のれん償却額	30,556千円	36,342千円

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マーケティング DX支援事業	コマース 支援事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	711,588	217,309	928,898	—	928,898
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	711,588	217,309	928,898	—	928,898
セグメント間の内部売上高又は振替高	476	—	476	△476	—
計	712,065	217,309	929,375	△476	928,898
セグメント利益	32,834	16,856	49,690	△258	49,432

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去3,000千円及びのれん償却額△3,258千円であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「マーケティングDX支援事業」において、アドエビスの管理画面リニューアルに伴い一部機能の提供を終了することを決定したことにより、当該機能に係るソフトウェアについて減損処理を行い、減損損失2,779千円を計上しております。

当第1四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マーケティング DX支援事業	コマース 支援事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	708,557	459,220	1,167,778	—	1,167,778
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	708,557	459,220	1,167,778	—	1,167,778
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,010	—	2,010	△2,010	—
計	710,568	459,220	1,169,788	△2,010	1,167,778
セグメント利益又は損失（△）	53,179	△30,079	23,100	—	23,100

（注）セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。